

NO. 2	議席番号	氏 名	質問事項・要旨及び答弁者
	5	平 野 武 志	
<p>1. 定住化(移住) 対策の具体案について</p> <p>定住化(移住)対策の具体案を検討しているのか伺います。 過去数回にわたり定住化対策の質問をしています。また、関連で人口減対策・過疎対策について私自身や同僚議員も質問しています。 その都度、町長の答弁は全体を通しての施策理論の展開ばかりです。 また、我々の具体論の提言については「財政上難しい」や「参考にしながら協議を進めていく」と答弁されていますが、一向に参考にした具体策が見えてきません。第5次振興計画の検証の中でも「定住人口を減少させないための施策が求められる」と記されています。 過去に提言した具体案の協議結果と見解を伺います。 他市町村から我が町への移住対策については、予算を投入しても必ず我が町に跳ね返ってくるものだと考えます。時期については、新幹線駅開業や高規格道路開通前の今、取り組むことが大事だと考えます。 幅広い定住化についての全施策の答弁は求めています。 他市町から木古内町への移住についての具体策を、協議中の部分も含め併せてお伺いします。</p>			町 長
<p>2. 義務教育の保護者負担について</p> <p>義務教育期間の保護者負担についてお伺いいたします。 毎年度、小中学校では教材費として保護者への負担が生じています。教材の内容については、学年や担当により違いはありますが、授業の質の向上や教育上必要だと理解はしております。ただ、現在の家庭環境の中で経済的負担になっているのも現実です。同じく冬季のスキー学習については保護者の方々は、授業内容の必要性は理解していても経済的には、大変だとの意見も出ています。木古内町の特性を活かした貴重な授業であり保護者への思いを考慮し、スキーセットを教材として町が用意するべきだと思います。 3月の予算等審査特別委員会まで2年度にわたり提言してきた義務教育期間の保護者負担の軽減、町としての教育現場への予算措置について教育長の考えをお伺いします。</p>			教 育 長